

# 鴨川ふるさと会だより

— 第9号 —

鴨川ふるさと会事務局発行：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所企画政策課内） TEL：04-7093-7828

## 定期総会

定期総会は、まず石川会長があいさつを行い、次に片桐市長、更に、当会の顧問でもある石田衆議院議員から祝辞が述べられました。  
続いて議事に入り、本年度からの新たな試みとして計画された「ふるさとセミナー」の

実施等については、議決されました。

その他、本年度は役員の変更年度に当たするため、新役員についても承認されました。会長、副会長2名及び監事2名については、再任。理事については、3名の退任に伴い、2名が新任として承認されました。現在の役員は下表のとおりです。

全ての議事が終了後、房総スカイライン及び鴨川有料道路の無料化に関する署名運動について、協力依頼したところでした。

なお、署名運動の詳細については、御礼も含めて、別途掲載しています。

## 鴨川ふるさと大使

### 委嘱状交付式

片桐市長から、新たに鴨川ふるさと大使となる会員のうち総会当日に出席された10名の皆様に、直接委嘱状が交付されました。

なお、これにより、当会会



委嘱状交付式の様子

## 改選後の役員の皆様 (平成24年度～25年度)

役員名	氏名
会長	石川 忠男
副会長	清水 龍太郎
理事	昼間 洋子
"	青木 健
"	池谷 洋
"	ト部 泰弘
"	小寺 信一
"	四宮 裕爾
"	山口 耕作
"	山口 保
監事	木村 絹代
"	山田 健男

(敬称略)

員のふるさと大使への就任者数は、130名となりました。

## 市執行部との市政懇談会

会員の皆様のご意見・ご提言を鴨川市政に届けるため、本年度も市執行部を来賓として招き、市政懇談会を開催しました。

片桐市長から本年度における鴨川市の事務・事業の概要等について説明後、会員皆様との意見交換の時間を設けました。東日本大震災の影響もあり、防災対策に関する質疑を中心にした活発な意見交換が行われました。

## 「波の伊八」をテーマに

### 第1回ふるさとセミナーを開催

懇談会終了後は、新たな試みとして「ふるさとセミナー」が実施されました。第1回目のテーマは、江戸時代の彫物大工「波の伊八」。市郷土資料館の学芸員である石川丈夫

て、画像で紹介しながらクイズを取り入れるなど、分かりやすく解説されました。



講師の石川丈夫氏

また、伊八の偉大さを示すものとして、世界遺産である日光東照宮の竜の彫刻作品と伊八の竜の作品を比べ、「勝っているのではないか。」という興味深い話を伺いました。

講義後の石川氏への質問や意見も長時間でも多岐に及ぶなど、会員皆様の伊八に対する関心の深さを知ることができました。



サプライズで会場に用意された初代伊八の作品「波に岸」(峠)

氏を講師として迎え、「郷土の名工 武志伊八郎信由」その実像を探る」と題したセミナーが行われました。講義は、初代伊八についての概要と最近の伊八に関する情報について

懇親会

セミナー終了後には、会員間の交流を深めるため、懇親会の場が復活。清水副会長の乾杯の発声により開宴しました。会場には、ふるさと鴨川を懐かしく感じてもらおうと、朝採りの新鮮野菜や海産物などを即売する物産ブースが設けられました。あっという間に買い物かごをいっぱいにした満足そうな笑顔があちらこちらでみられました。

同郷の仲間との和やかなムードが最高潮に達した頃、急きょアトラクションを実施。片桐市長とのジャンケン大会で優勝された2名の会員には、市長からの豪華景品が送られました。予定終了時間を大幅にオーバーした今年度の定期総会は、昼間副会長の締めめの言葉で幕を閉じました。



房総スカイライン・鴨川有料道路の無料化に関する署名運動について(御礼)

定期総会の議事終了後、出席された皆様にご協力いただいた署名運動ですが、会員の皆様を中心として、総勢630名分もの署名が事務局に届けられました。この場をお借りして、御礼を申し上げます。

なお、皆様からの署名は、房総スカイライン・鴨川有料道路南房総無料化推進協議会により、9月25日に約13万7000名分の署名や要望書とともに森田健作千葉県知事へ直接手渡されましたので、併せてご報告いたします。



森田知事へ署名と要望書が直接手渡されました

おらがの「マチ」自慢 副会長 昼間 洋子

今年の8月で2歳になった姪の息子は、千葉テレビの鴨川合同祭が大好き。多少機嫌が悪くても、目を輝かせ夢中になる。本物のお祭りでは、すっかり「ほーちやいて」いた。小さな幼児から老若男女を問わずお祭りは心をワクワクさせる。原初の昔から、人の血を滾らせ、地縁血縁の絆を強くする。被災地でもいち早く、津波に流されてしまったお神輿を復元し、お祭りを復活したというニュースをよく聞く。お祭りは生きていくエネルギーを沸き立たせるのだ。祭り好きでは人後に落ちない私も、夫にあきれられながらも毎年「はまいこんで」鴨川に帰省する。今年も、各講の代表が木遣りののどを競ったのも良かった。



今年9月に行われた祭礼での「担ぎ屋台巡行」

さて、自慢その1は「担ぎ屋台」。どこの祭りでも見たことが無い。太鼓をたたく人間を乗せ、屋台を担ぐのを誰が考えたのだろう。あの太鼓と笛の音を聞くと、ハーメルンの笛吹き男に連れられていく子供のように、どこまで追っかけてたくなる。昔は2台出たとのこと。さぞ勇壮だったことだろう。さすがに「担ぎ屋台」は女には手が出せない。担いでいる人がみんないい男に見える。祭りでは男つぶり女つぶりが夜目遠目で3割アップすること請け合いだ。

自慢その2は江戸からお嫁入りした山車だ。平成15年の「江戸天下祭り」では、90年振りに東京に里帰りした。私は白幡講だが、紫のそりの半纏を着て山王様を引っ張らせてもらった。日比谷公園を出るとスゴイ人波で、一瞬息を呑み声が出なかった。でもここぞとばかりに「ほーらやんだ」と誇らしく東京駅まで綱を引いた。

自慢その3は弁天様のご開帳だ。来年は60年に一度の本開帳が5月4日・5日に決まった。また船を並べて弁天島までの船橋を作ることだろう。

実家の船も大漁旗で綺麗に飾って参加する。お神輿も「担ぎ屋台」も総出で賑やかだろう。今から楽しみにしている。さて、祭りと言えど馳走である。寿萬亀の冷やで、弟が潜って採ってきたアワビやサザエ、何日も前から用意する「マチ魚」の色々。母の自慢の卵の太巻き。本当に幸せを実感するひと時だ。最後の晩餐のメニューもこれにしよと秘かに決めていた。



大正12年の弁天島中開帳



昭和28年の弁天島本開帳

(写真提供 鴨川市郷土資料館)

第2回ふるさとセミナー開催のお知らせ

みねおがまき

今回のテーマは「嶺岡牧」  
現地を探索します！

伊八の作品や水田三喜男氏の生家の見学も！昼食は用意します。

今年度2回目の開催となる「ふるさとセミナー」。今回のテーマは、「嶺岡牧」です。「現地で嶺岡牧を見ないことには始まらない！」という会員の声にお応えし、嶺岡牧の遺構や初代「波の伊八」の作品などを見学します。鴨川での開催となるため、会員の皆様には、遠方からのご参加となりますが、地域の宝、「嶺岡牧」をぜひ体感してみませんか。

なお、終了後は、会員同士の交流を深めることを目的とした懇親会を鴨川市内で開催します。懇親会は、自由参加です。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。申し込み方法は、同封した案内文をご覧ください。

第2回ふるさとセミナー  
「地域の宝 嶺岡牧を巡る」ご案内

**日 時** 平成25年1月20日(日) 雨天決行  
午前11時20分～午後4時頃(予定)  
\*終了後、午後5時から懇親会を予定しています。(参加は自由)

**集合場所** 鴨川市役所来客駐車場  
(午前11時20分集合)

**服 装** 歩きやすい服装・靴  
天候によっては雨具(レインコートなど)

**参加費** 1,000円(弁当代・保険代)  
(懇親会の参加費は、5,000円となります)

**申し込み** 会報に同封されているセミナー参加票を返信用封筒にて事務局宛にご返送ください。(平成25年1月7日(日)締め切り)

※お問合せ先  
鴨川ふるさと会事務局 (Tel 04-7093-7828)

コースのご案内

鴨川市役所駐車場集合(11:20)～  
①「波の伊八」作品・薬王院薬師堂～  
②魚見塚一戦場公園 昼食・野馬土手(大浦木戸)～  
③馬頭観音～  
④二子・仲町地内の野馬土手～  
⑤旧水田家住宅主屋など～みんなみの里～  
市役所到着(16:00予定)  
\*コース内容は、変更となる可能性があります。予めご了承ください。

〔見学地の説明〕

- ①薬王院初代伊八の竜虎の欄間彫刻と県指定文化財の「薬師堂」の見学
- ②高さ3mの土盛り 牧の出入口である大浦木戸がある
- ③三面八臂・憤怒相 高さ118cmは県内最大級
- ④土盛り・石垣タイプの野馬土手
- ⑤第1次池田内閣以来7期にわたり大蔵大臣を務めた郷土の政治家、故水田三喜男氏の生家 江戸時代後期に建てられた房総特有の建築様式

市の決算状況をお知らせします

ここでは平成23年度の一般会計の決算状況をお知らせします。

一般会計は、歳入総額149億2019万7千円(前年度比16・7%減)、歳出総額142億4554万4千円(前年度比16・9%減)で、差し引き6億7465万3千円の黒字決算となりました。行財政改革への取組みによる経費の節減を図りながら、現下の重要施策への重点的な予算配分を行い、限られた財源の効果的・効率的な執行に努めました。

次に平成23年度の主な事業をお知らせします。

まず、防災行政無線のデジタル化改修工事をはじめ市内各小中学校へ災害時対応用の無線機の配備、市内各所への海拔標示板の設置などを行い、防災対策の強化に取組みました。(写真①)

次に、平成22年度からの継続事業として弁天橋の改築工事(写真②)を実施したほか、魚見塚展望台本体や展望台へのアプローチ改修工事(写真③)を実施しました。

また、県指定文化財である薬王院薬師堂の改修工事(写真④)に対し、補助金を交付しました。



薬王院薬師堂の改修工事への補助金交付  
375万円



魚見塚展望台及びアプローチ改修工事  
2,513万4千円



弁天橋改築工事  
9,528万5千円



防災行政無線デジタル化改修工事・海拔標示  
1億3,185万1千円

今後も安心・安全な住みよいまちづくりに資する行財政運営に努めて参ります。

# 鴨川市所蔵の絵画作品が、 横山大観の真筆

## であることが 新たに確認されました！

この度、市で所蔵している絵画が、日本画の巨匠、横山大観の真筆であることが判明しました。

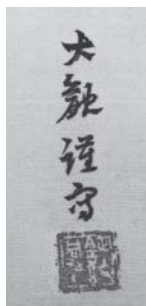
借用し、12日間という短い会期でしたが、市内外から1786名の来場者がありました。



横山大観の真筆と確認された「霊峰」

(縦42.1cm×横127.3cm)

「霊峰」と命名されました。なお、この作品の制作の目的、同校への寄贈の経緯など、詳細については不明ですが、同記念館によると、千葉県内市町村で本市以外に横山大観の真筆画が所蔵された例はなく、大変珍しいとのこと。これを契機に市では、横山大観の画業の一端を多くの方々に広く紹介するため、横山大観展を開催。市で所蔵している作品「霊峰」のほか、横山大観記念館から4点の絵画を



画面右下に確認される「大観謹写」の文字と落款

制作年代は、不明であるが、作風から昭和16年・17年頃の作品と推定される。

## 事務局からのお知らせ

### ふるさと大使の名刺

#### 再注文 受付中！

前号でもご案内しましたが、当会から新たに多くの会員が大使に就任されたことを機に、今年度からふるさと大使の名刺がリニューアルされました。就任された大使の方々と、名刺の在庫が少なくなってきた方は、事務局までご連絡ください。新たな鴨川をPRするデザインとなっておりますので、ご活用ください。



### 会費の納入を お願いします

昨年度から導入している年会費制。会員皆様のご協力のもと、当会の貴重な運営財源として活用しております。今年度は、10月1日を納入期限として設定させていただきます。但し、本会報の発行時点において、会費が未納の方には、払込取扱票を再送付させていただきますので、納入につ

### ふるさと産品

ふるさと会では、みんなの里の協力を得て、会員の皆様向けに郷土の特産物の販売を斡旋しています。

長狭米や日本酒はもちろんのこと、野菜・花・海産物・菓子類など、幅広く商品を取り揃えておりますので、ご自宅用・贈りもの用など、郷土を感じる機会として、是非ご利用ください。

詳しくは、本会報に同封のパンフレットをご覧ください。

### ふるさと納税の 本年度実績

鴨川市への寄附金として、会員の皆様の多大なる協力をいただいている「鴨川市ふるさと」と寄附金。

今年度も多くの会員の皆様から温かいご支援が届いています。ここで本年度のこれまでの実績をご報告します。

11月15日現在、全体としては52件(百六十八万五千元)の収入があり、うち会員の皆様からのご寄附は20件(四十五万円)です。この場をお借りして、御礼申し上げます。

なお、ふるさと納税のお申し出は、随時受付を行って

ます。詳しくは、本会事務局へご連絡いただくか、または、ふるさと納税専用ホームページ「鴨川ふるさと」をご覧ください。

### 掲載記事を募集します

事務局では、会員の皆様からの会報記事を募集しています。日頃感じている鴨川への想い、マイブームの紹介、身の回りの小さな出来事などを会員のページに掲載してみませんか。前号では、石川忠男会長が推薦図書「プラチナ・タウン」とご自身の近況について紹介し、今回は、昼間洋子副会長に故郷のお祭りへの粋な想いを語っていただきました。ありがとうございます。

会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、気軽にご利用ください。

なお、経営する企業やお店などの広告も併せて募集しています。広告料は、1コマで三千円となります。

お問い合わせ、ご相談は、事務局までご連絡ください。

### 鴨川ふるさと会事務局

鴨川市役所企画政策課

TEL 04-7093-7828